

静岡県月例経済報告

(令和2年4月号)

……令和2年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 528

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和2年2月を中心とした静岡県の景気は、このところ悪化している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き弱い動きとなることが見込まれる。

雇用情勢は、改善の動きが弱まっている。

- ・ 個人消費は、弱まっている。
- ・ 設備投資は、増勢が鈍化している。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、減少している。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、弱まっている」

大型小売店販売額(2月)は、百貨店が5か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが5か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも5か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(2月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも5か月ぶり、コンビニエンスストアが2か月連続、ドラッグストアが4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(2月)は、乗用車、軽自動車がいずれも5か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも5か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(2月)は、分譲住宅が3か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が8か月連続、貸家が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(2月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増勢が鈍化している」

日銀短観(令和2年4月1日)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(2月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、減少している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（2月）は、自動車²が2か月ぶり、科学光学機器が9か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機、自動車の部分品がいずれも2か月ぶり、エアコンが6か月連続、二輪自動車類が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額（2月）は、木材、紙類及び同製品がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が7か月連続、パルプが5か月連続、原動機が4か月連続、自動車の部分品が11か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,112億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、減少している」

鉱工業生産指数（1月）は、化学が2か月連続、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が3か月連続、電気機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも6か月連続、輸送機械が12か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも8か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（1月）は、総合では5か月ぶりに前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きが弱まっている」

有効求人倍率（2月）は1.27倍で、前月を0.11ポイント下回った。また、73か月連続で1倍を上回った。なお、11か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（2月）は、6か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（12月）は、11か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比 0.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（2月）は、前年同月比 7.4%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産（3月）は、件数は18件（前年同月比 50.0%増）と前年実績を上回り、負債総額は22億7,000万円（同 47.5%減）と前年実績を下回った。

<トピックス> 「令和2年度4月補正予算案（経済産業部主要事業）の概要」

<令和2年4月21日時点>

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に呼応し、深刻な影響を受けている中小企業者への一層の支援など、緊急に必要な経費について補正

金融支援（8,728,000千円）

○新型コロナウイルス感染症に係る緊急金融支援関連事業費

資金繰りが悪化している中小企業者の経営維持・安定を図るため、追加の金融支援を緊急的に実施

○農林水産業災害対策資金利子補給金 <制度拡充>

融資制度の対象災害に「新型コロナウイルス感染症」を追加し、経営に影響が出ている農林水産業者を支援

雇用維持（35,000千円）

○中小企業支援センター事業費、小規模事業経営支援事業費助成

中小企業の資金繰り、労務管理やBCP等に関する派遣ニーズに対応するため、専門家派遣制度を拡充

緊急事態下での経済活動の維持（406,500千円）

○小規模企業経営力向上支援事業費助成

新型コロナ感染症の影響下においても、テイクアウト商品の開発など、新たなビジネスモデル等に挑戦し、経営革新を目指す小規模事業者を支援

○オンライン経営相談環境整備事業費助成（新規）

小規模事業者が、オンラインで経営相談ができる環境を整備するため、モデル的に必要なシステムの構築等を行う商工団体に助成

○水産イノベーション対策支援推進事業費助成

ネット通販などの新たな取組を実施する漁業者、水産加工者等に対して支援

○中小企業等危機克服チャレンジ支援事業費助成（新規）

売上が減少する現状を克服するべく挑戦する中小企業・小規模事業者を支援するため、新サービスの展開や新たな業態への転換に要する経費に対し助成

○県産品消費回復緊急対策事業費（新規）

販売に影響を受けている農林漁業者や加工品業者を支援するため、通販サイト（EC）を活用して販路を拡大

○農林水産物販売促進緊急対策事業費（新規）

販売に影響を受けている農林漁業者や加工品事業者を支援するため、JA静岡経済連の通販サイト（EC）を活用して販売促進

○工業技術研究所遠隔技術相談等環境整備事業費（新規）

工業技術研究所に非対面・遠隔での技術相談、技術支援環境を整備

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

2月 = 30,869百万円

*前年同月比： 3.2%増

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は30,869百万円で、前年同月比 3.2%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 5.5%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 5.3%増）が5か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 3.7%減）、身の回り品（同 6.0%減）、家庭用品（同 0.7%減）がいずれも5か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 5.1%増）が5か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.5%増と、5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
販売額(百万円)	33,415	34,021	35,248	31,310	33,275	41,861	33,831	30,869
前年同月比(%)	▲5.8	▲1.4	7.0	▲7.5	▲1.9	▲3.9	▲2.6	3.2
うち百貨店(%)	▲8.8	▲2.7	18.2	▲20.5	▲6.5	▲7.2	▲5.8	▲5.5
スーパー(%)	▲5.0	▲1.1	4.5	▲4.5	▲0.7	▲2.9	▲1.8	5.3
(参考1)全国前年同月比(%)	▲4.8	0.4	10.0	▲8.2	▲1.8	▲3.0	▲1.4	0.2
うち百貨店(%)	▲3.3	2.0	22.8	▲16.4	▲4.8	▲3.7	▲1.8	▲10.5
スーパー(%)	▲5.5	▲0.2	4.4	▲4.3	▲0.2	▲2.6	▲1.3	5.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲5.1	0.5	8.9	▲6.3	▲1.0	▲2.9	▲1.3	4.5

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
衣料品	▲12.1	0.9	14.0	▲16.8	▲3.2	▲8.4	▲7.0	▲3.7
うち紳士服・洋品	▲13.7	4.1	9.4	▲14.3	▲0.1	▲9.8	▲7.5	▲3.7
婦人・子供服・洋品	▲11.3	1.4	14.7	▲17.4	▲4.5	▲7.8	▲6.8	▲3.4
身の回り品	▲11.6	1.4	22.3	▲23.6	▲9.8	▲12.5	▲5.3	▲6.0
飲食料品	▲3.2	▲1.6	0.1	▲2.7	▲0.4	▲1.0	▲0.9	5.1
家庭用品	▲12.6	1.0	20.8	▲14.6	▲2.0	▲9.9	▲4.0	▲0.7
うち家庭用電気機械器具	▲13.1	24.6	38.3	▲16.0	▲8.6	▲16.5	▲9.0	▲2.2

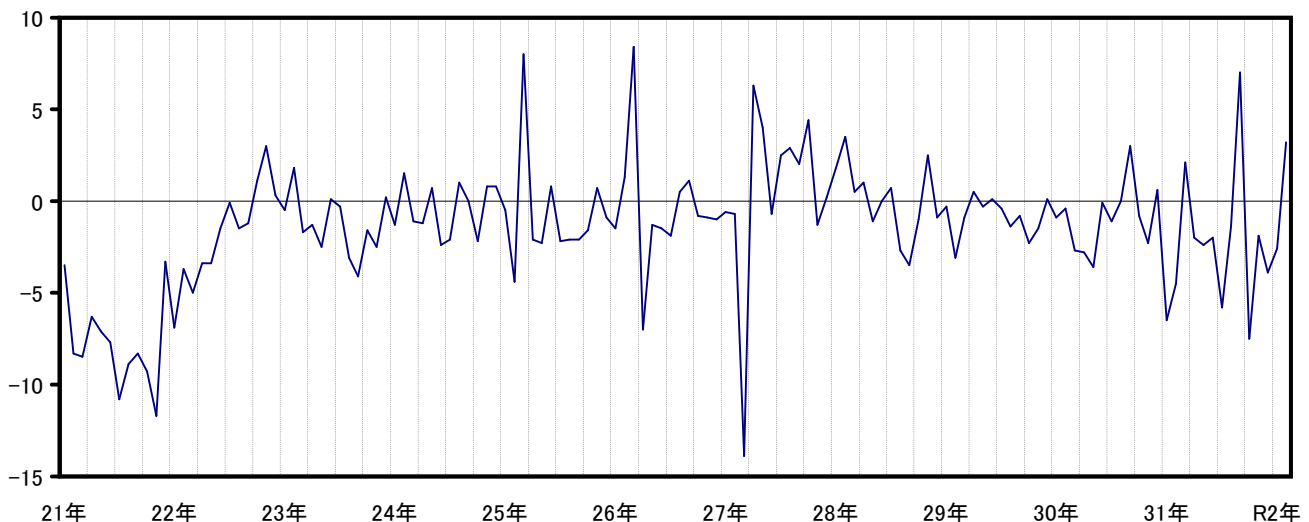
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

2月 = 67,080百万円

*前年同月比：9.4%増

(県内89家電大型専門店、1,687コンビニエンスストア、504ドラッグストア、107ホームセンター合計)

<概況>

2月の専門量販店等販売額は67,080百万円で、前年同月比9.4%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比3.1%増)、ホームセンター(同10.6%増)がいずれも5か月ぶり、コンビニエンスストア(同3.5%増)が2か月連続、ドラッグストア(同18.7%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
販売額(百万円)	74,111	76,745	78,161	65,726	66,472	77,821	67,663	67,080
前年同月比(%)	▲3.5	6.4	17.1	▲1.9	1.8	▲0.4	0.7	9.4
うち家電大型専門店(%)	▲14.6	14.9	49.0	▲15.9	▲6.9	▲11.6	▲3.7	3.1
コンビニエンスストア(%)	▲3.5	0.7	▲0.2	2.3	2.1	▲0.3	0.5	3.5
ドラッグストア(%)	0.8	7.5	22.3	▲3.8	2.7	3.2	4.3	18.7
ホームセンター(%)	▲10.3	5.5	23.9	▲9.3	▲4.1	▲5.4	▲3.7	10.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.5	6.2	16.1	▲1.0	1.2	▲1.1	2.1	2.1

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

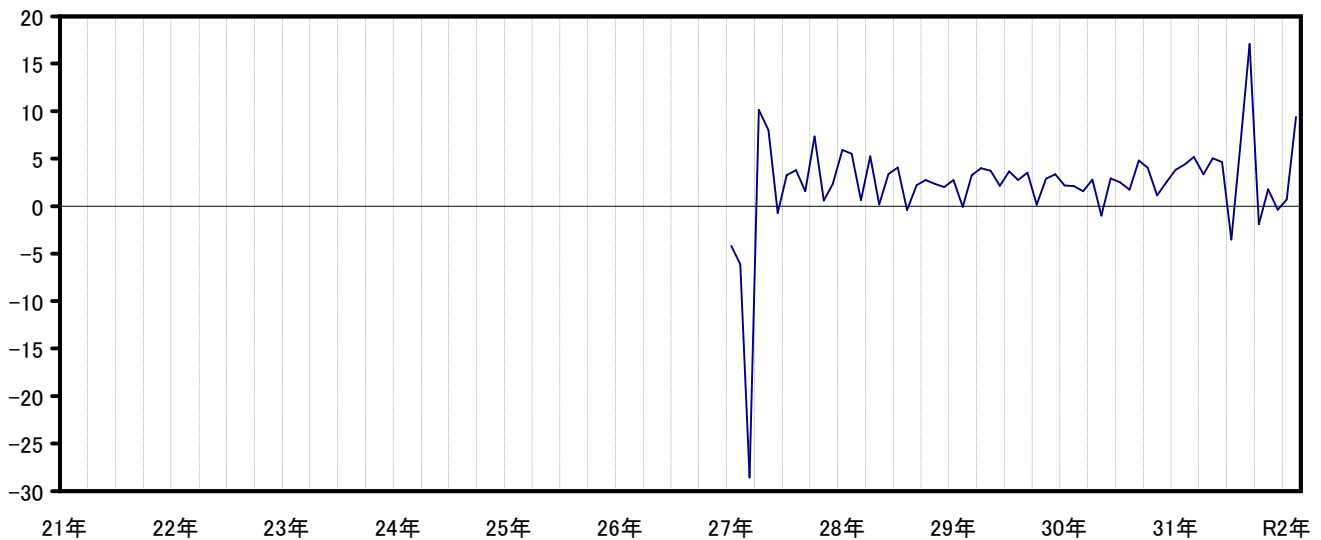
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 15,947 台

*前年同月比： 10.2%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は15,947台(前年同月比 10.2%減)と、5か月連続で前年実績を下回った。
 車種別にみると、乗用車(前年同月比 13.2%減)、軽自動車(同 6.7%減)がいずれも5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
登録台数(台)	15,791	12,987	18,730	10,962	12,913	11,882	13,792	15,947
前年同月比(%)	8.0	8.1	11.7	▲ 22.2	▲ 12.3	▲ 10.0	▲ 12.0	▲ 10.2
(参考)全国前年同月比(%)	2.9	4.9	13.6	▲ 25.1	▲ 11.6	▲ 11.1	▲ 12.1	▲ 9.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

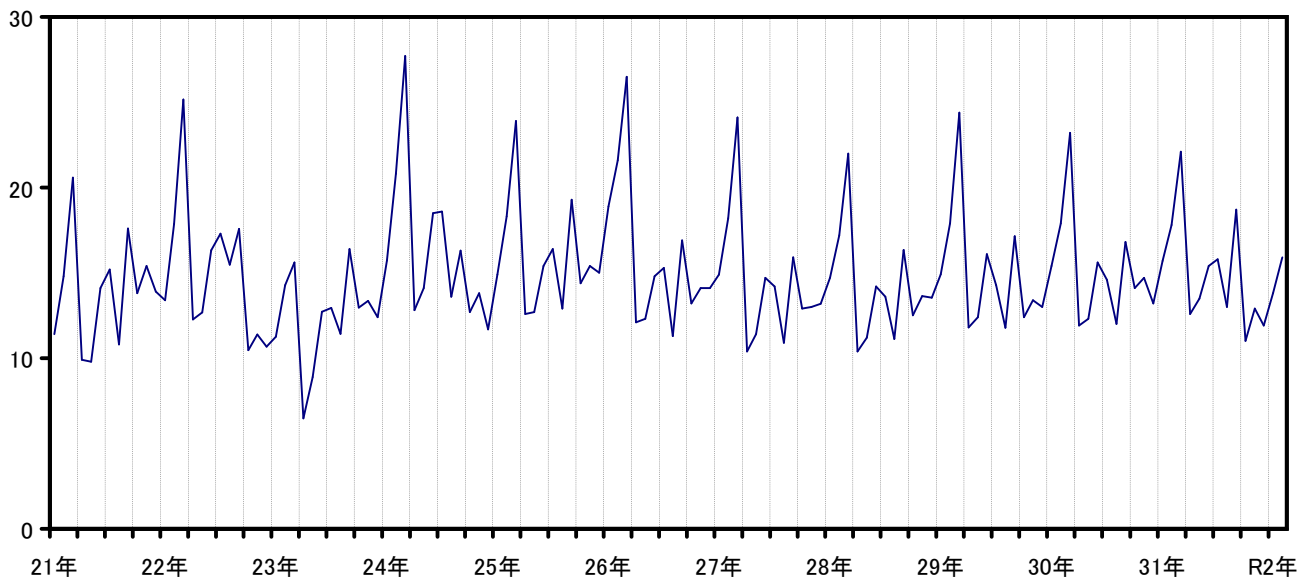
	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
全乗用車	8.0	8.1	11.7	▲ 22.2	▲ 12.3	▲ 10.0	▲ 12.0	▲ 10.2
乗用車	6.5	0.8	10.4	▲ 28.1	▲ 18.3	▲ 8.3	▲ 16.9	▲ 13.2
軽自動車	9.9	17.2	13.4	▲ 15.1	▲ 4.5	▲ 12.2	▲ 6.2	▲ 6.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,391 戸

*前年同月比： 13.2%減

<概況>

2月の新設住宅着工戸数は1,391戸で、前年同月比 13.2%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 21.8%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 18.9%減）が8か月連続、貸家（同 21.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

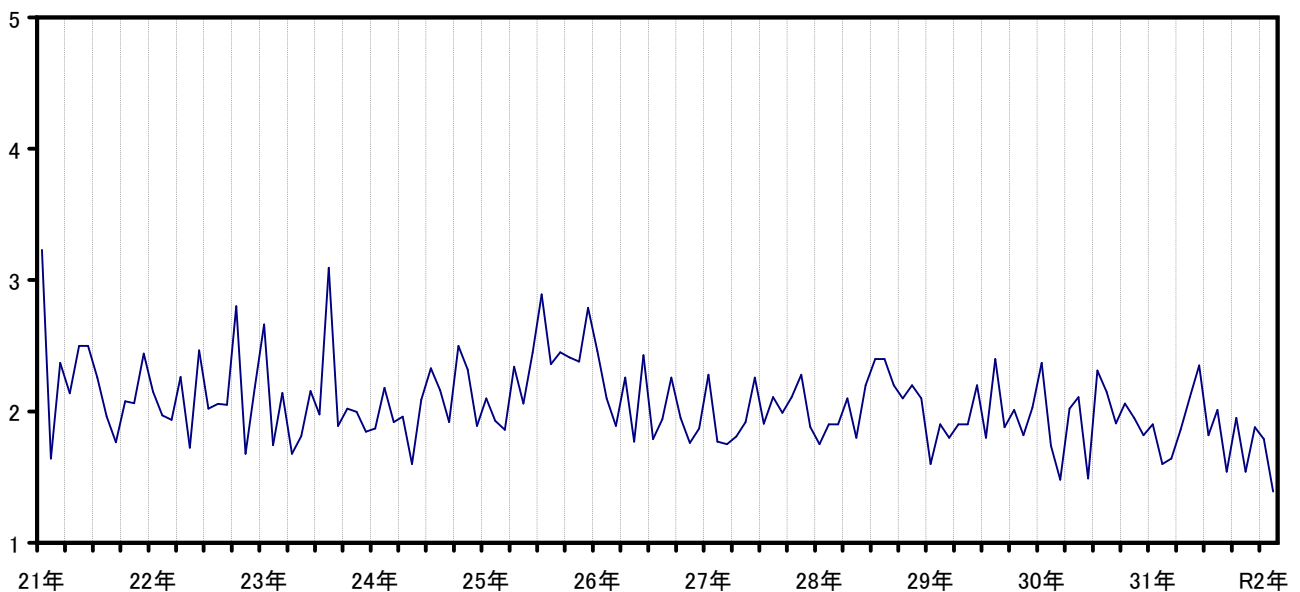
	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
戸数 (戸)	1,821	2,013	1,536	1,951	1,539	1,882	1,792	1,391
前年同月比 (%)	▲ 21.1	▲ 6.5	▲ 19.5	▲ 5.2	▲ 21.1	3.3	▲ 5.5	▲ 13.2
うち持家 (%)	▲ 2.8	▲ 4.8	▲ 6.6	▲ 3.3	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 8.5	▲ 18.9
貸家 (%)	▲ 33.0	0.0	▲ 32.1	▲ 25.3	▲ 46.8	20.0	▲ 10.5	▲ 21.4
分譲住宅 (%)	▲ 45.2	▲ 19.2	▲ 35.3	30.4	▲ 11.7	2.7	2.7	21.8
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 4.1	▲ 7.1	▲ 4.9	▲ 7.4	▲ 12.7	▲ 7.9	▲ 10.1	▲ 12.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

2月 = 13,907百万円

*前年同月比：29.9%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

2月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は13,907百万円で、前年同月比29.9%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は297件で、前年同月比78.9%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
金額(百万円)	42,486	30,036	64,202	33,436	17,066	15,352	14,407	13,907
前年同月比(%)	42.9	5.9	55.9	40.2	15.1	▲31.2	52.8	29.9
年度累計前年同月比(%)	29.8	26.1	31.6	32.4	31.4	26.5	27.3	27.4
件数(件)	881	761	1,076	931	675	545	385	297
前年同月比(%)	1.0	▲11.2	▲9.2	26.2	▲2.2	▲24.2	22.2	78.9
年度累計前年同月比(%)	▲1.7	▲4.0	▲5.3	▲1.1	▲1.2	▲3.6	▲2.4	▲0.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

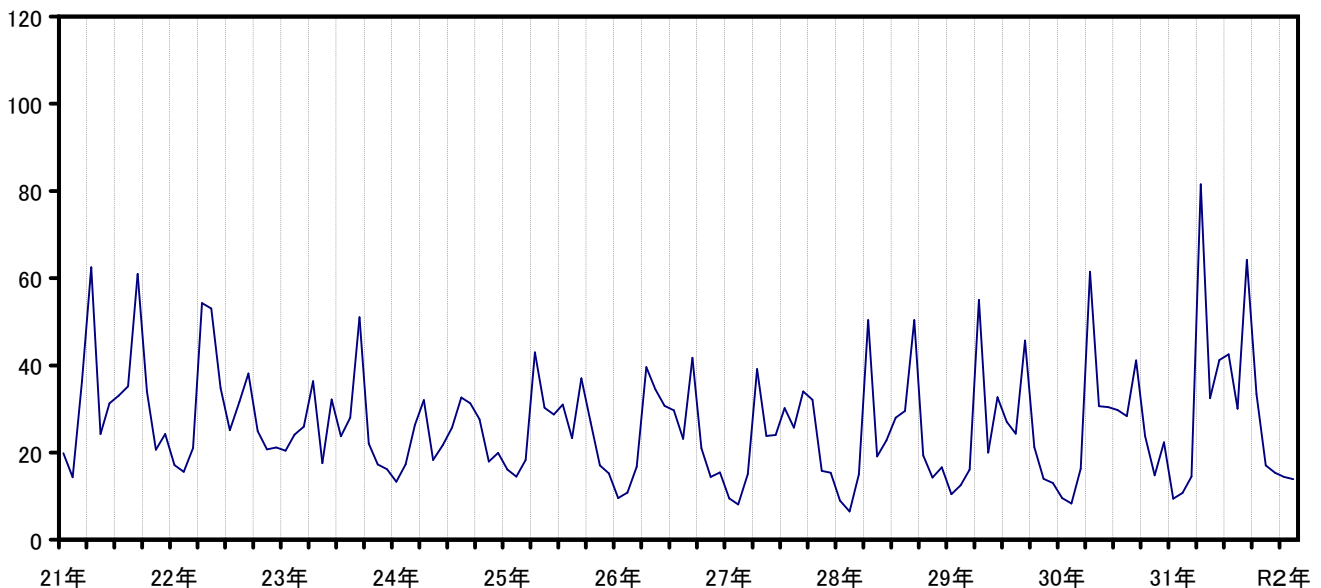
	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
国	27.0	60.8	11.9	194.5	30.5	▲28.7	24.4	79.8
独立行政法人等	44.7	41.5	257.1	▲79.6	66.2	53.0	271.0	9.4
県	43.4	▲14.4	16.6	142.7	83.1	▲32.8	66.0	48.6
市町	46.5	6.5	6.3	4.7	▲2.1	▲44.6	27.8	51.2
地方公社	351.9	1,143.7	▲8.8	308.0	▲9.7	▲82.4	1,713.8	-
その他	59.0	▲6.6	175.8	91.5	▲73.6	▲71.1	329.2	▲89.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 10.2%増）、非製造業（同 1.1%増）、全産業（同 5.9%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 4.7%増）、非製造業（同 2.4%増）、全産業（同 4.1%増）においていずれも増加する計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は68,069㎡で、前年同月比 55.5%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (計画)	R2年度 (計画)
全産業	県	(0.8) 6.5	5.9
	全国	(▲0.5) 2.7	▲0.4
製造業	県	(▲6.1) 11.9	10.2
	全国	(▲2.6) 4.1	2.4
非製造業	県	(9.4) 1.3	1.1
	全国	(0.7) 1.9	▲2.0

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (計画)	R2年度 (計画)
全産業	県	(▲0.4) 4.4	4.1
	全国	(▲0.8) 4.2	1.2
製造業	県	(▲3.2) 5.3	4.7
	全国	(▲1.9) 3.4	2.5
非製造業	県	(8.3) 2.1	2.4
	全国	(0.4) 5.1	▲0.2

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和2年3月調査)」

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	106,559	118,214	91,195	189,974	118,282	131,035	65,693	68,069
前年同月比（%）	▲ 62.6	▲ 23.1	▲ 61.5	64.0	35.4	▲ 38.2	▲ 4.1	▲ 55.5
（参考）全国前年同月比（%）	0.4	▲ 5.1	▲ 18.4	▲ 14.8	▲ 9.7	▲ 2.5	▲ 25.1	▲ 2.6

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R元年12月	R2年3月	R2年6月 (予測)
全産業	全産業	▲ 1	▲ 10	▲ 23
	製造業	▲ 10	▲ 19	▲ 29
	非製造業	6	▲ 3	▲ 19
（参考）全国・全産業		4	▲ 4	▲ 18

（注4）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年3月調査)」

5 輸出

2月 = 177,796百万円

*前年同月比： 1.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は177,796百万円で、前年同月比 1.5%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 25.1%増）が2か月ぶり、科学光学機器（同 42.0%増）が9か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 13.4%減）、自動車の部分品（同 11.4%減）がいずれも2か月ぶり、エアコン（同 27.7%減）が6か月連続、二輪自動車類（同 8.6%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 2.4%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、米国向け（同 5.5%減）が7か月連続、EU向け（同 4.3%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
輸出総額(百万円)	207,998	162,444	163,977	187,463	176,427	186,921	154,849	177,796
前年同月比(%)	13.8	▲ 6.8	▲ 14.8	0.4	▲ 2.0	▲ 11.5	2.6	▲ 1.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
原動機	16.4	▲ 16.0	▲ 28.2	▲ 11.5	▲ 13.3	▲ 18.5	4.9	▲ 13.4
エアコン	▲ 7.9	0.1	▲ 26.2	▲ 0.8	▲ 30.0	▲ 38.4	▲ 6.1	▲ 27.7
自動車	▲ 5.8	▲ 13.2	▲ 29.0	▲ 10.9	12.8	14.5	▲ 21.1	25.1
自動車の部分品	▲ 14.7	▲ 16.9	▲ 23.7	▲ 16.2	▲ 10.2	▲ 16.5	2.2	▲ 11.4
二輪自動車類	10.0	▲ 2.1	21.4	37.1	13.3	7.0	▲ 12.2	▲ 8.6
科学光学機器	43.8	41.0	19.1	31.1	8.8	20.3	52.4	42.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
アジア	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 13.5	0.2	▲ 3.7	▲ 6.4	8.0	2.4
米国	58.6	▲ 14.7	▲ 14.1	▲ 10.9	▲ 7.5	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 5.5
EU	11.4	▲ 4.4	▲ 16.7	22.2	11.8	▲ 14.9	▲ 0.3	▲ 4.3

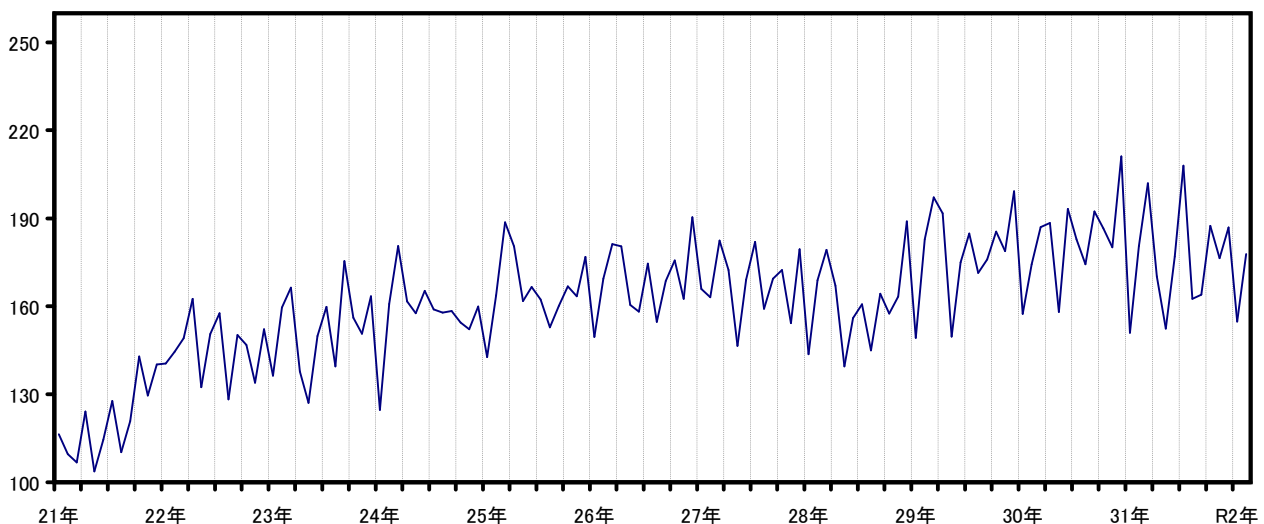
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

2月 = 66,642百万円

*前年同月比： 13.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は66,642百万円で、前年同月比 13.9%減となり、10か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 6.4%増）、紙類及び同製品（同 54.2%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 17.0%減）が7か月連続、パルプ（同 15.5%減）が5か月連続、原動機（同 29.0%減）が4か月連続、自動車の部分品（同 41.2%減）が11か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 26.9%減）が2か月ぶり、米国から（同 15.4%減）が5か月連続、EUから（同 18.6%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
輸入総額(百万円)	91,541	83,252	83,641	86,696	91,217	80,725	90,837	66,642
前年同月比(%)	▲4.6	▲6.8	▲1.2	▲17.4	▲6.0	▲20.0	▲13.0	▲13.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
魚介類及び同調製品	4.3	▲25.5	▲7.0	▲18.3	▲10.8	▲32.6	▲28.9	▲17.0
木材	14.8	▲18.3	▲1.7	▲14.5	11.4	2.4	▲13.9	6.4
パルプ	▲38.3	▲0.8	5.4	▲43.8	▲33.9	▲15.6	▲50.3	▲15.5
紙類及び同製品	24.7	26.7	▲8.0	9.8	▲14.5	15.2	▲7.9	54.2
原動機	34.9	0.9	67.2	1.0	▲15.4	▲15.5	▲20.5	▲29.0
自動車の部分品	▲41.8	▲34.8	▲20.5	▲42.5	▲40.3	▲34.6	▲9.9	▲41.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

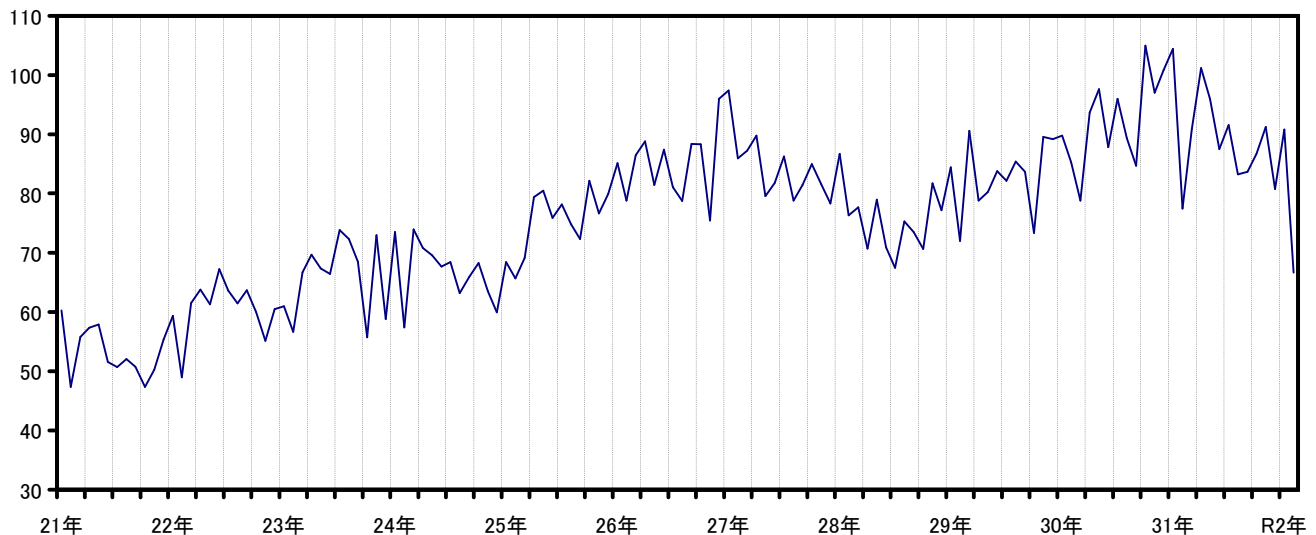
	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
アジア	▲3.3	▲10.8	10.0	▲10.8	▲10.1	▲14.4	3.7	▲26.9
米国	46.2	▲24.1	19.9	▲3.2	▲8.2	▲10.7	▲12.5	▲15.4
EU	12.3	▲22.6	▲2.0	▲37.4	▲27.1	▲32.9	▲40.9	▲18.6

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

1月 = 100.8

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.9%増

*前年同月比(原指数) : 4.3%減

<概況>

1月の鉱工業生産指数(総合)は100.8(季節調整済指数)で、前月比1.9%増と、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.3%減と、8か月連続で前年水準を下回った。
業種別にみると、化学(前年同月比3.0%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同2.8%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同7.6%減)が3か月連続、電気機械(同16.0%減)、パルプ・紙・紙加工品(同5.4%減)がいずれも6か月連続、輸送機械(同5.7%減)が12か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
指数	98.5	102.3	98.0	100.2	99.7	102.3	98.9	100.8
前月比(%)	▲5.7	3.9	▲4.2	2.2	▲0.5	2.6	▲3.3	1.9
前年同月比(%)	▲6.4	▲0.6	▲8.2	▲4.9	▲7.1	▲5.8	▲5.9	▲4.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.1	0.7	▲4.7	1.1	▲7.7	▲8.1	▲3.1	▲2.5

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.4	21.1	5.4	▲7.6	1.8	▲0.5	▲4.5	▲7.6
電気機械工業	▲3.1	0.8	▲17.3	▲14.6	▲11.4	▲4.7	▲8.3	▲16.0
輸送機械工業	▲18.5	▲11.8	▲12.6	▲10.6	▲10.3	▲6.6	▲8.5	▲5.7
化学工業	0.8	2.0	▲6.4	5.4	▲0.9	▲7.7	3.0	3.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲5.3	4.3	▲14.1	▲7.7	▲8.6	▲9.4	▲4.2	▲5.4
食料品・たばこ工業	▲0.1	4.8	▲0.6	5.0	▲6.4	0.4	▲3.4	2.8

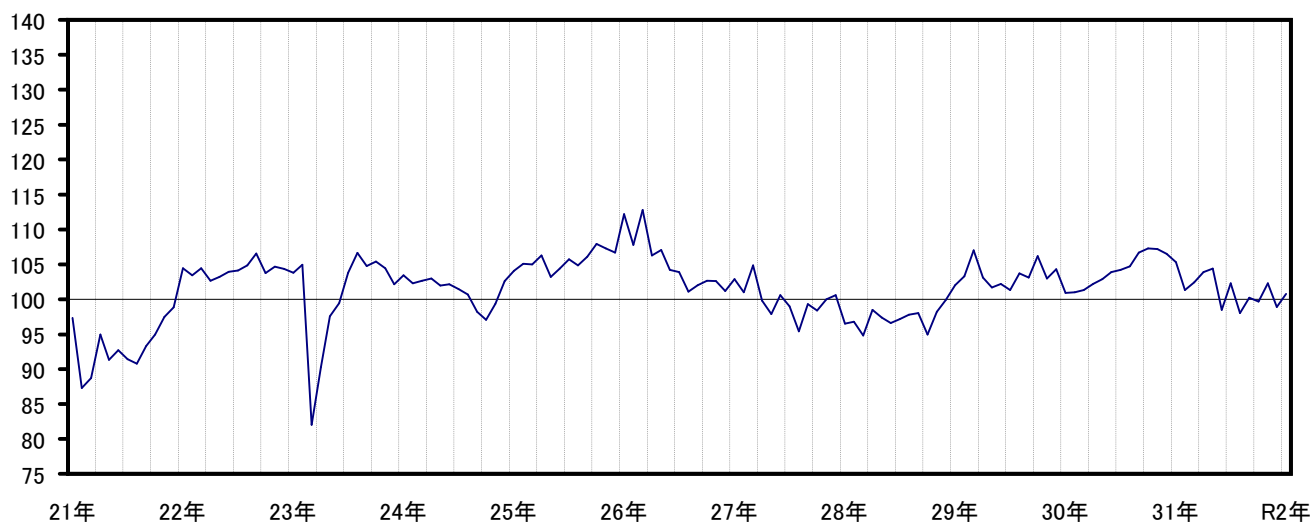
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

1 月 = 114.7

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.8%増

*前年同月比(原指数) : 4.8%増

<概況>

1月の鋳工業在庫指数(総合)は114.7(季節調整済指数)で、前月比は0.8%増と、4か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.8%増と、5か月ぶりに前年水準を上回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、電気機械(前年同月比0.4%減)が9か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同31.3%増)が13か月連続、輸送機械(同6.8%増)が13か月ぶり、化学(同6.8%増)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同10.5%増)が3か月連続、食料品・たばこ(同6.0%増)が11か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
指数	106.6	107.3	110.1	105.3	107.6	109.0	113.8	114.7
前月比(%)	0.8	0.7	2.6	▲4.4	2.2	1.3	4.4	0.8
前年同月比(%)	0.5	1.5	1.1	▲9.5	▲3.2	▲0.8	▲0.4	4.8
(参考)全国前年同月比(%)	2.9	2.4	2.7	0.7	2.6	1.5	1.3	3.8

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	19.9	22.1	23.2	22.9	24.9	33.4	29.6	31.3
電気機械工業	9.0	13.2	9.0	7.4	2.6	2.4	3.7	▲0.4
輸送機械工業	▲32.8	▲33.8	▲24.8	▲47.9	▲18.7	▲27.3	▲19.3	6.8
化学工業	8.4	0.7	3.5	▲17.4	▲8.8	4.9	▲3.6	6.8
パルプ・紙・紙加工品工業	2.2	6.9	2.1	▲7.5	▲1.6	0.3	8.8	10.5
食料品・たばこ工業	7.3	24.7	19.0	16.0	6.6	5.0	20.2	6.0

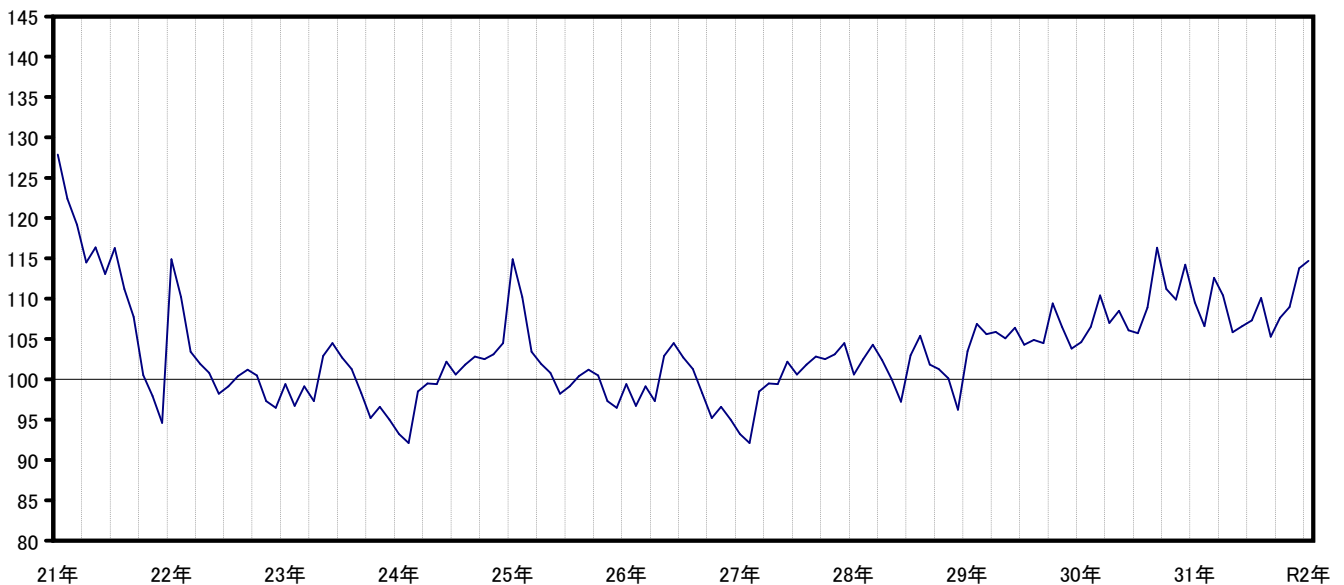
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

2月 = 1.27倍

*前月比（季節調整値）：0.11ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

2月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.27倍となり、前月を0.11ポイント下回った。また、11か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 28.9%減）は18か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 17.6%減）、運輸業・郵便業（同 6.7%減）、卸売業・小売業（同 27.6%減）がいずれも2か月連続、製造業（同 28.1%減）が15か月連続、情報通信業（同 29.4%減）が2か月ぶり、医療・福祉（同 17.2%減）が4か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 51.4%減）が10か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
県	1.56	1.56	1.54	1.51	1.47	1.47	1.38	1.27
全 国	1.59	1.59	1.58	1.58	1.57	1.57	1.49	1.45

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
建設業	▲ 11.0	▲ 1.6	9.0	0.0	▲ 7.0	2.0	▲ 13.4	▲ 17.6
製造業	▲ 9.0	▲ 20.6	▲ 12.6	▲ 20.7	▲ 26.3	▲ 16.2	▲ 26.2	▲ 28.1
情報通信業	▲ 22.1	▲ 14.9	▲ 24.7	▲ 13.7	13.2	▲ 37.7	2.5	▲ 29.4
運輸業・郵便業	▲ 6.3	▲ 5.6	11.7	▲ 6.1	▲ 12.8	21.4	▲ 10.5	▲ 6.7
卸売業・小売業	▲ 19.2	▲ 25.7	30.1	▲ 16.8	▲ 20.0	0.4	▲ 25.1	▲ 27.6
医療・福祉	1.9	3.0	▲ 5.5	2.6	▲ 7.4	▲ 9.3	▲ 3.3	▲ 17.2
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 19.6	▲ 21.1	▲ 30.8	▲ 29.1	▲ 41.2	▲ 13.0	▲ 42.6	▲ 51.4
合 計	▲ 9.8	▲ 11.2	▲ 4.1	▲ 14.1	▲ 18.5	▲ 5.8	▲ 23.3	▲ 28.9

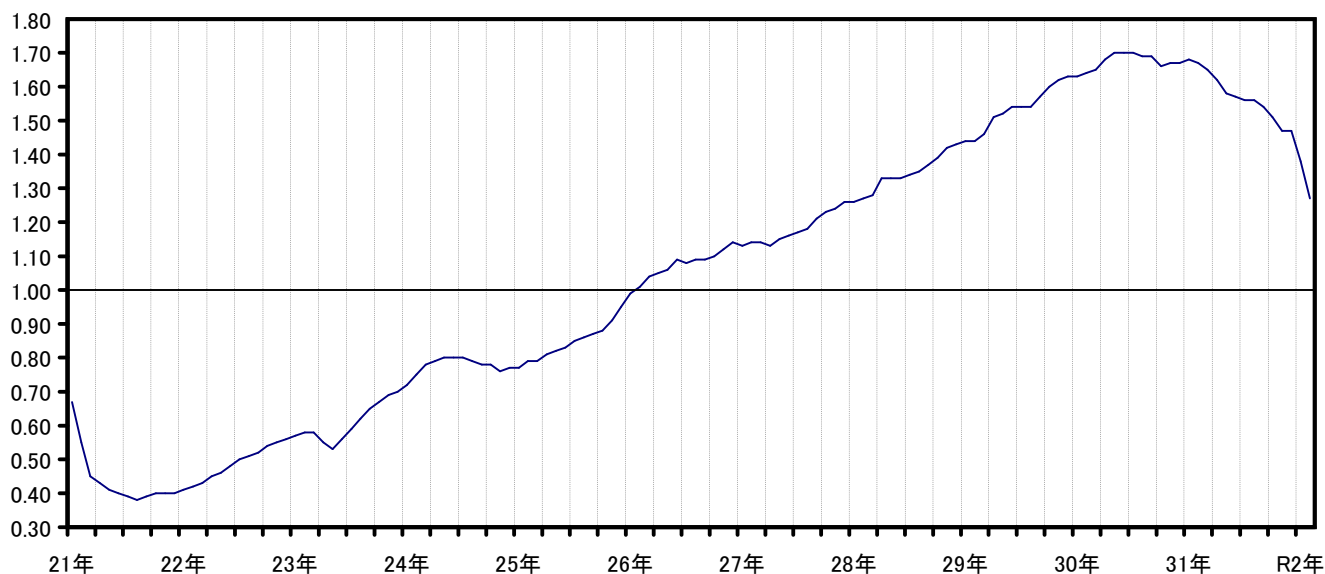
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 10,142人

*前月比: 5.4%減

*前年同月比: 6.5%増

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は10,142人で、前月比は5.4%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は6.5%増と6か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.4%と前月と同水準だった。

静岡県(令和元年10月~12月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和元年7月~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
実人員(人)	11,426	11,366	11,529	11,551	10,895	10,675	10,717	10,142
前月比(%)	7.4	▲0.5	1.4	0.2	▲5.7	▲2.0	0.4	▲5.4
前年同月比(%)	4.1	▲0.4	8.7	6.1	6.9	11.5	8.0	6.5
(参考)全国前年同月比(%)	4.8	▲1.0	3.3	0.2	1.5	8.1	6.2	3.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	2.2	2.2	2.4	2.4	2.2	2.2	2.4	2.4

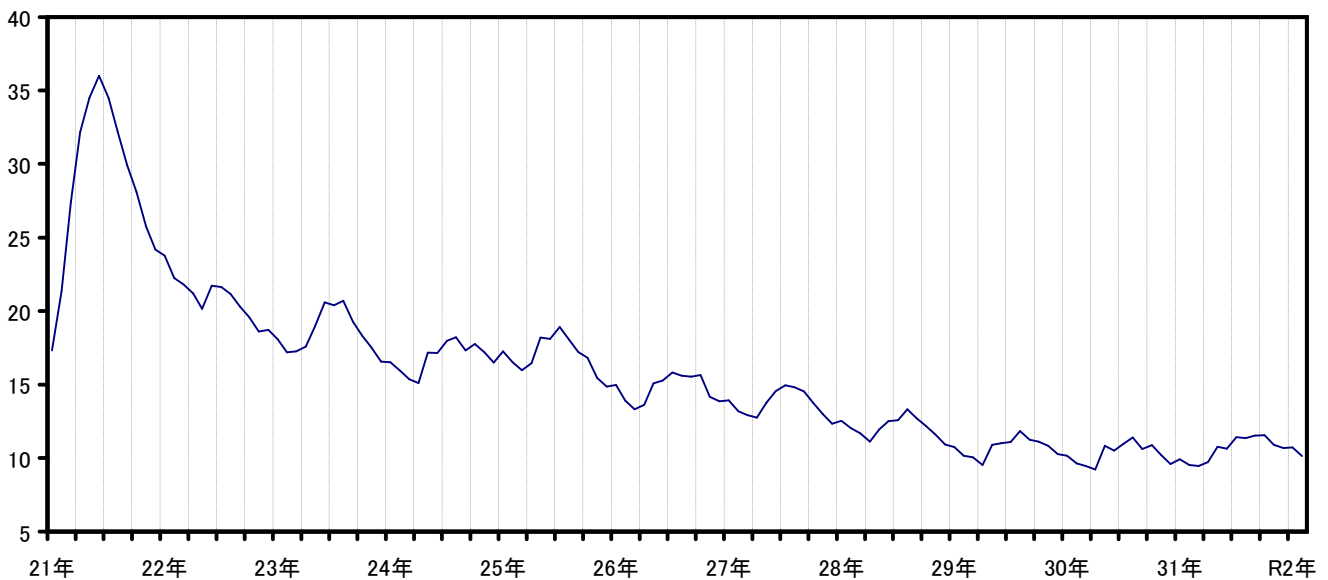
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

12月 = 84.4

*前月比(季節調整済指数): 3.2%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 8.2%減

<概況>

12月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は84.4(季節調整済指数)で、前月比3.2%増となった。また、前年同月比(原指数)は8.2%減と11か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比178.9%増)が7か月連続、卸売業・小売業(同11.8%増)が14か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同16.2%減)が14か月連続、情報通信業(同8.3%減)、その他のサービス業(同6.7%減)がいずれも2か月ぶり、運輸業・郵便業(同1.8%減)、医療・福祉(同1.7%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	88.0	84.1	88.4	90.9	87.6	85.1	81.8	84.4
前月比(%)	▲4.8	▲4.4	5.1	2.8	▲3.6	▲2.9	▲3.9	3.2
前年同月比(%)	▲8.9	▲11.1	▲8.9	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	▲0.8	▲0.8	▲1.7	0.0	▲2.3	▲3.8	▲3.9

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	▲69.9	103.2	137.8	177.0	177.0	152.7	159.7	178.9
製造業	▲9.8	▲18.4	▲19.1	▲12.8	▲16.7	▲19.8	▲21.3	▲16.2
情報通信業	20.3	25.5	28.9	12.2	12.4	▲6.7	1.2	▲8.3
運輸業・郵便業	▲5.5	▲8.1	0.0	0.0	3.3	3.5	▲2.2	▲1.8
卸売業・小売業	24.3	10.7	21.2	14.3	15.2	21.9	5.3	11.8
医療・福祉	35.5	▲17.7	▲6.9	▲16.1	23.5	0.0	▲20.5	▲1.7
その他のサービス業	21.7	1.4	▲3.7	▲6.6	6.3	▲5.7	0.0	▲6.7
調査産業計	▲8.9	▲11.1	▲8.9	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2

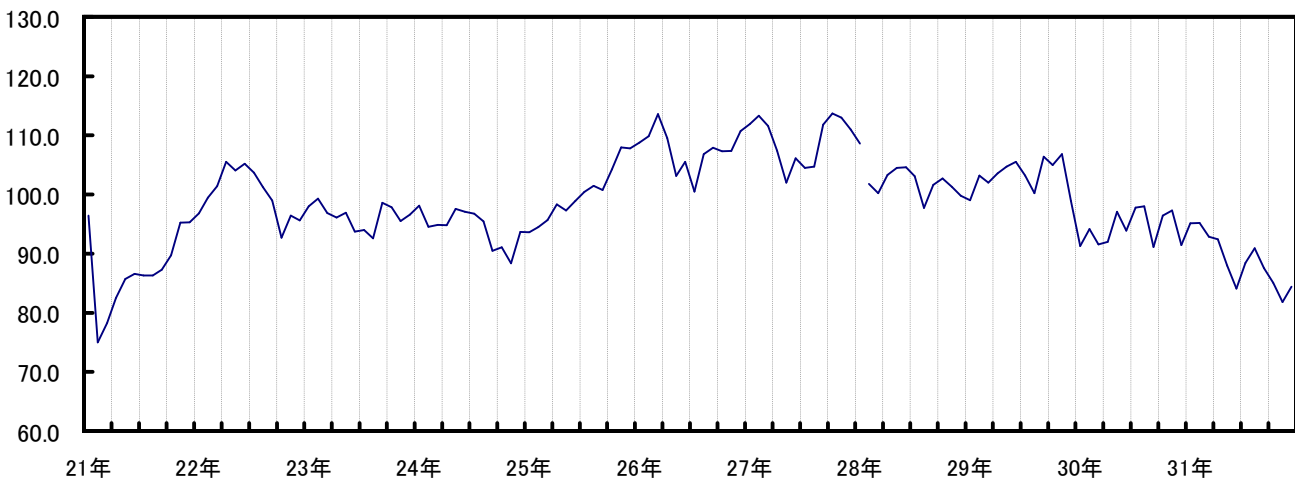
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

3 月 = 101.1

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.9%下落

*前年同月比: 0.4%下落

<概 況>

3月の国内企業物価指数は101.1となり、前月を0.9%の下落となった。また、前年同月比は0.4%の下落となった。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	R2年2月	3月
国内企業物価指数	100.9	100.9	102.1	102.2	102.3	102.4	102.0	101.1
前 月 比 (%)	▲ 0.2	0.0	1.2	0.1	0.1	0.1	▲ 0.4	▲ 0.9
前年同月比 (%)	▲ 0.9	▲ 1.1	▲ 0.3	0.2	0.9	1.5	0.8	▲ 0.4

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 136,721億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.2%増

*前年同月比: 0.4%減

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は136,721億円で、前月比は0.2%の増加となった。また、前年同月比は0.4%の減少となった。

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
貸出残高(億円)	135,675	135,630	136,142	134,978	135,303	136,220	136,481	136,721
前 月 比 (%)	▲ 0.2	▲ 0.0	0.4	▲ 0.9	0.2	0.7	0.2	0.2
前年同月比 (%)	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 1.761%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.008ポイント減

*前年同月差: 0.148ポイント減

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.761%で、前月から0.008ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.148ポイントのマイナスとなった。

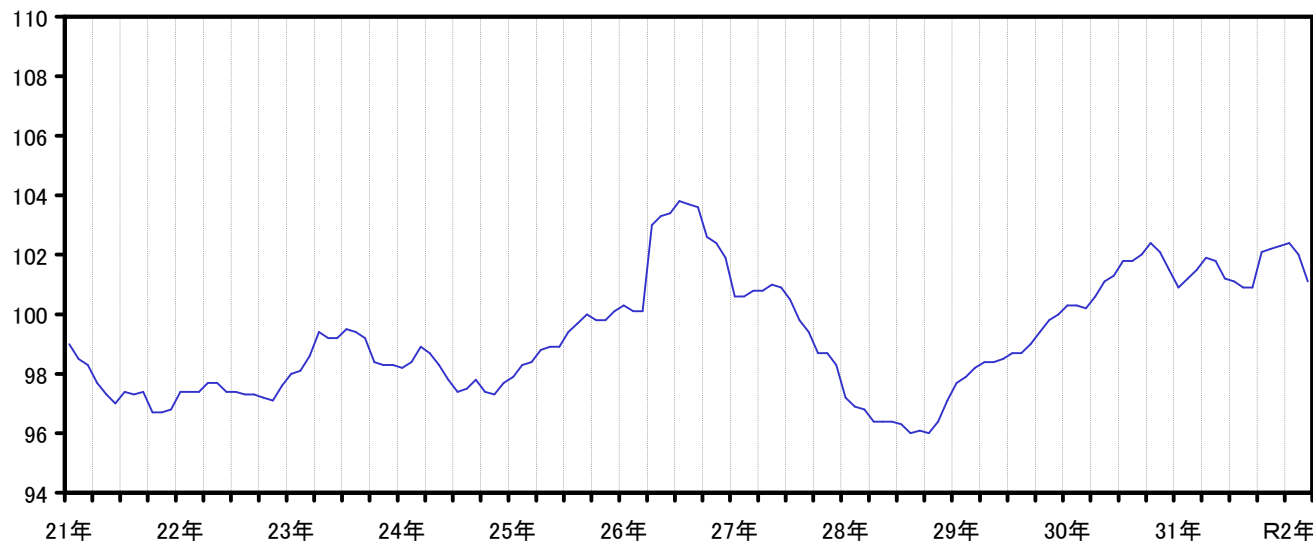
	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
貸出約定金利(%)	1.794	1.786	1.773	1.770	1.758	1.739	1.769	1.761
前月差(ポイント)	▲ 0.019	▲ 0.008	▲ 0.013	▲ 0.003	▲ 0.012	▲ 0.019	0.030	▲ 0.008
前年同月差(ポイント)	▲ 0.224	▲ 0.213	▲ 0.204	▲ 0.200	▲ 0.194	▲ 0.186	▲ 0.151	▲ 0.148

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

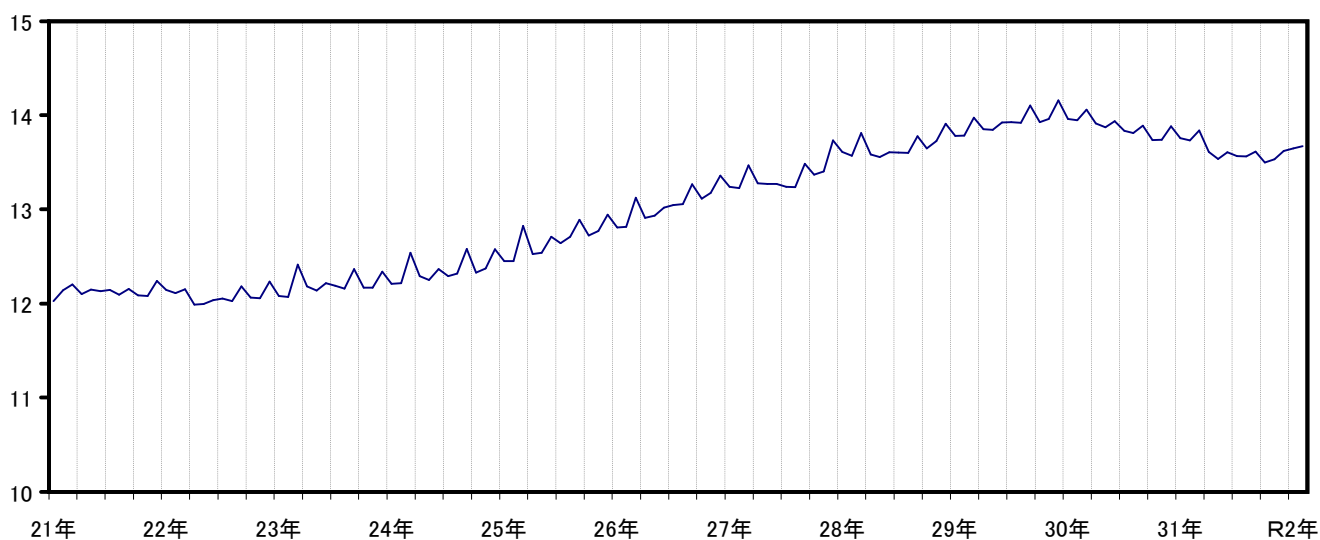
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



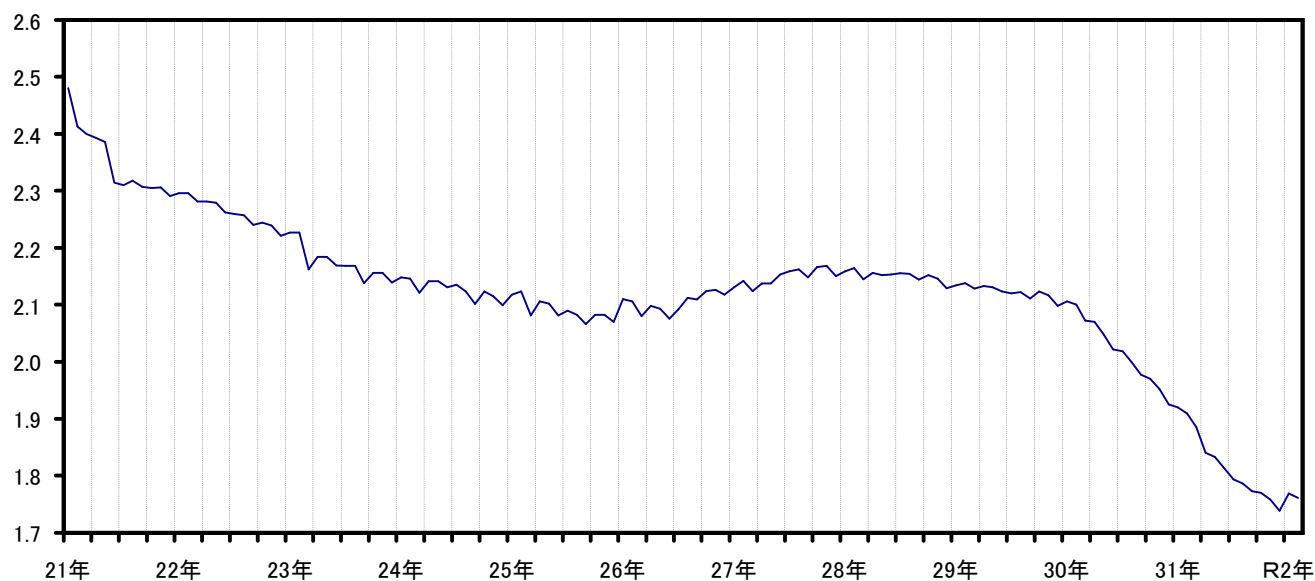
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**2月 = 14,832百万円**

*前年同月比： 7.4%減

<概況>

2月の保証承諾は、金額は14,832百万円（前年同月比 7.4%減）と、6か月ぶりに前年実績を下回り、件数は1,550件（同 2.7%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
保証金額（百万円）	15,500	14,709	18,990	17,473	20,407	20,126	13,977	14,832
前年同月比（%）	▲ 18.5	▲ 15.4	1.8	8.4	14.8	2.9	9.9	▲ 7.4
保証件数（件）	1,667	1,617	1,844	1,801	2,011	2,028	1,416	1,550
前年同月比（%）	▲ 13.2	▲ 18.7	▲ 0.8	6.4	15.3	7.4	5.7	▲ 2.7

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**3月 = 107.29円/ドル**

*前月差： 2.67円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 3.92円高

<概況>

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は107.29円で、前月と比べて2.67円の円高となり、7か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
平均相場（円）	106.27	107.41	108.12	108.86	109.18	109.34	109.96	107.29
前月差（円）	▲ 1.95	1.14	0.29	0.74	0.32	0.16	0.62	▲ 2.67
前年同月差（円）	▲ 4.79	▲ 4.48	▲ 4.66	▲ 4.51	▲ 3.27	0.39	▲ 0.40	▲ 3.92

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 18件**

*前年同月比： 50.0%増

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は18件（前年同月比 50.0%増）と、前年実績を上回り、負債総額は2,270百万円（同 47.5%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の94.4%を占め、268か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

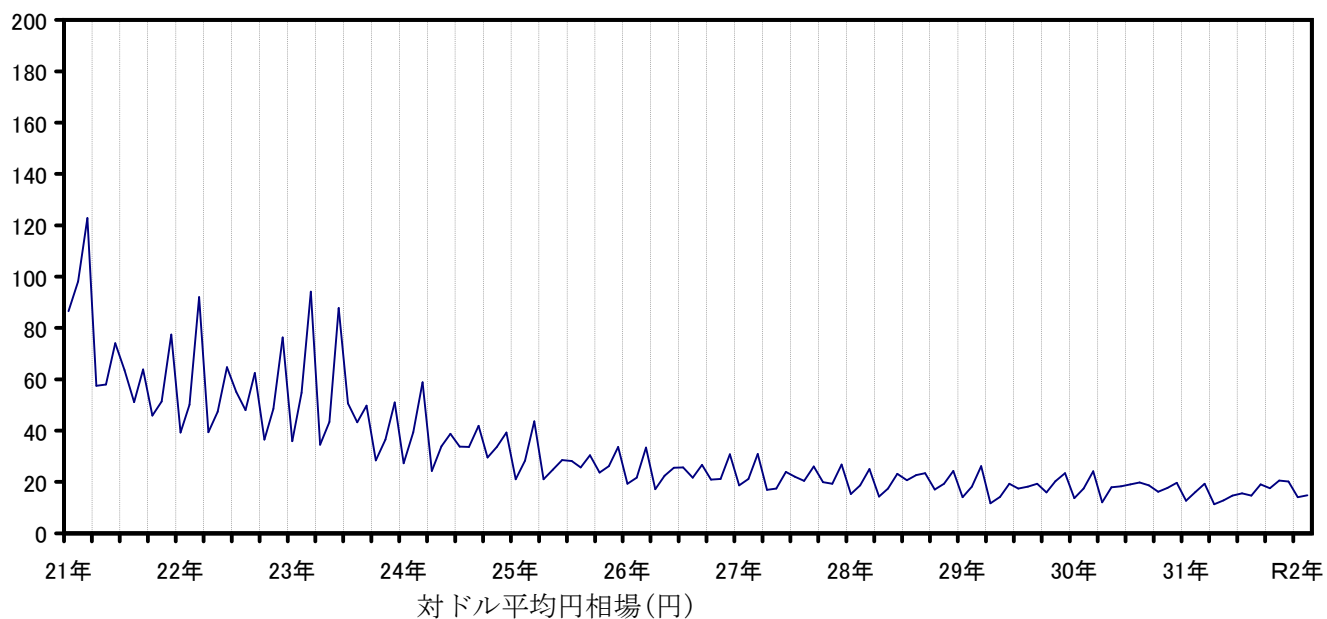
	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
倒産件数（件）	12	20	15	23	12	18	11	18
前年同月比（%）	▲ 45.4	100.0	▲ 25.0	35.2	▲ 29.4	20.0	▲ 8.3	50.0
うち不況型倒産件数（件）	11	17	11	22	10	14	11	17
負債総額（百万円）	1,458	1,542	1,722	2,905	41,289	5,945	1,448	2,270
前年同月比（%）	▲ 37.3	132.9	▲ 51.9	29.8	1,558.8	381.3	▲ 3.1	▲ 47.5

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

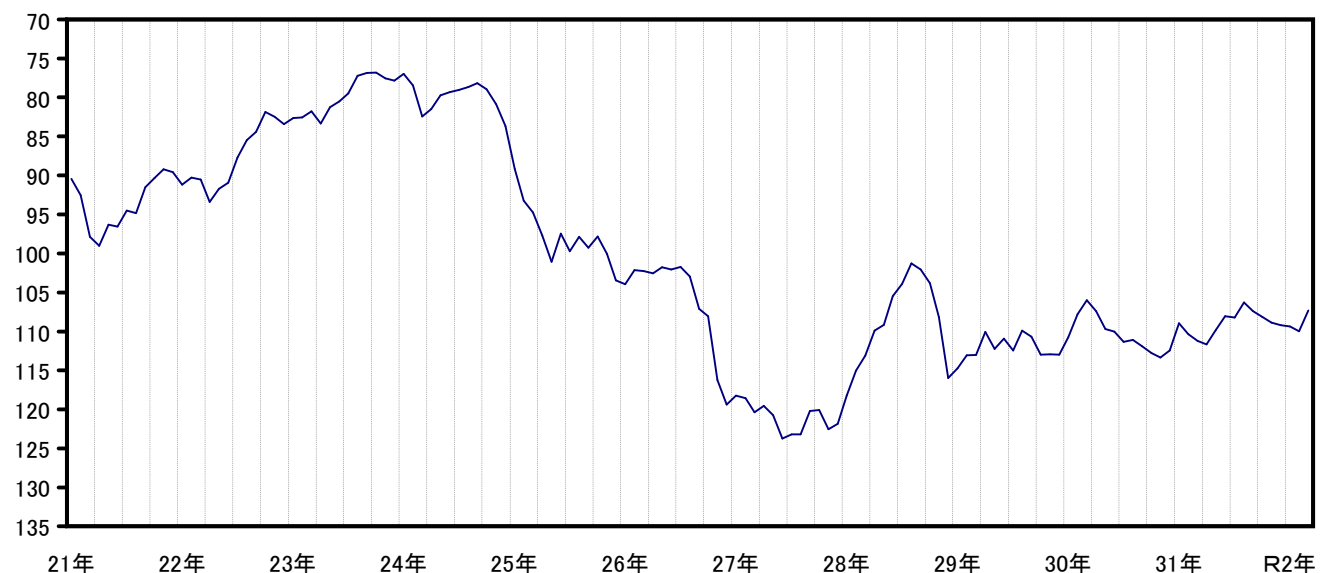
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

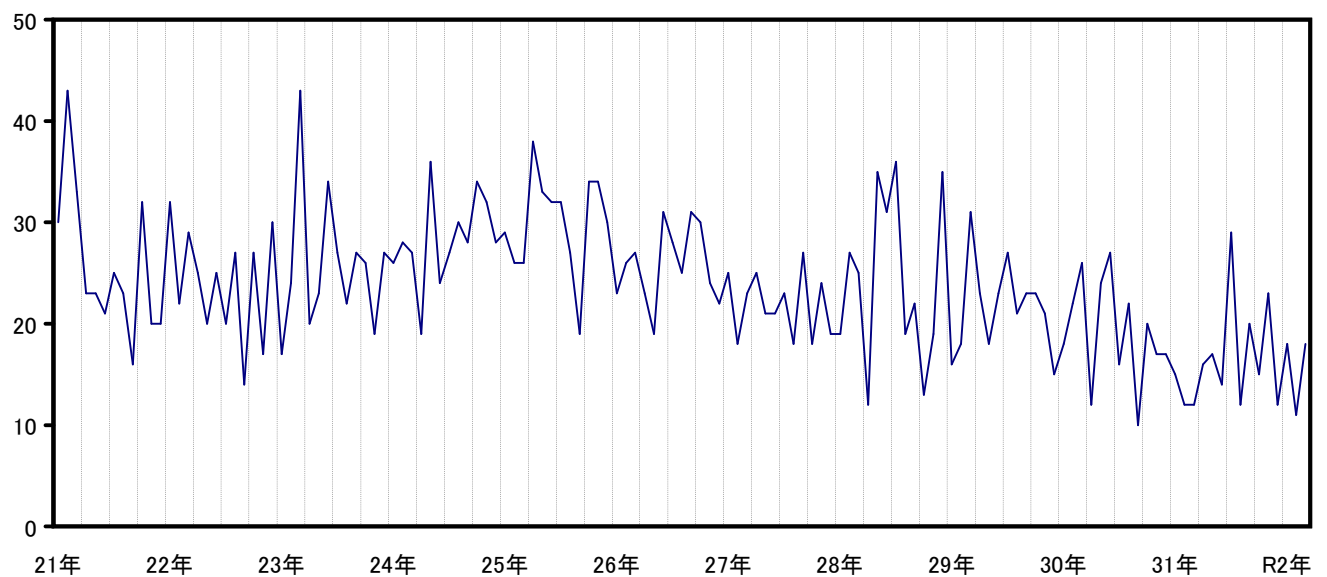


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和2年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>1月の国内二輪車生産台数は、54,272台（前年同月比11.0%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、8,949台（同4.5%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,985台（同4.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,465台（同24.8%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、37,873台（同15.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、22,877台（同13.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、36,306台（同0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>1月の自動車国内生産台数は、762,315台（前年同月比3.5%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。輸出は334,800台（同7.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが6か月連続、乗用車が4か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は283億円（前年同月比23.2%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は287千台（同10.5%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは551千台（同9.4%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。業務用は68千台（同0.7%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>2月の携帯電話の国内出荷台数は、842千台（同36.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、550千台（同24.7%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は65.3%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、772億2,400万円（前年同月比29.6%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は452億2,700万円（同33.6%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが161億8,700万円（同40.2%減）と、21か月連続で前年実績を下回った。内需は319億9,700万円（同23.2%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「中国企業の新型コロナウイルスによる操業停止等の影響で受注案件が進まず、極めて厳しい状況で今後を心配している。」という声や「新型コロナウイルスの感染拡大により発注案件が減少傾向にあることから、1案件に対する相見積もりが増加し利益確保が厳しくなっている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、47億5,909万円（前年同月比 2.0%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが24億9,305万円（同 1.6%減）と、国内向けが22億6,604万円（同 2.5%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,801台（同 3.9%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,853台（同 2.2%減）、グランドピアノ948台（同7.1%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,301台（同 4.8%増）、国内向けが1,213台（同 10.4%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、1,820千ト（前年同月比 5.7%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は969千ト（同 6.8%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。板紙は850千ト（同 4.4%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、518千ト（同12.3%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、165千ト（同15.1%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け842千箱（前年同月比 5.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は545千箱（同8.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。うち、主力であるツナ缶は386千箱（同12.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は297千箱（同0.2%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,002千箱（同 8.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、1,216千㎡（前年同月比 12.7%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,140千㎡（同 13.1%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、77千㎡（同 4.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、24千㎡（同 13.7%減）と、23か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、39億427万円（前年同月比 21.9%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、414億8,101万円（同11.1%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>2月の県内百貨店・スーパーの販売額は、30,869百万円（既存店前年同月比3.2%増）と、前年実績を上回った。品目別では、衣料品、身の回り品、家庭用品、食堂・喫茶の販売額が不調だった一方で、飲食料品、その他の商品の販売額が前年実績を上回った。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、新型コロナウイルスの影響により、マスクやトイレットペーパーの売上げが急増した。また、肉食需要の高まりを受け、単価が高い米の売上げも増加しており、青果品の相場安の影響をカバーし、全体としての売上げは前年実績から微増した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、バレンタイン商戦が好調だった一方で、新型コロナウイルスの影響で、下旬の売上げが大きく減少し、全体の売上げは前年実績を下回った。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、肉食需要の高まりにより、総菜等の売上げが増加した一方で、飲食店の売上げが大きく減少したこと等を受け、全体としての売上げも前年実績を下回った。</p> <p>食品スーパーとその他の業態で、影響の受け方は違うものの、新型コロナウイルスの影響が顕著に現れる結果となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和2年2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約30万人で、前年同月比8.2%増となった。</p> <p>新型コロナウイルスの影響によりクルーズ船の寄港が中止され、日本平ロープウェイでは客数が減少した一方で、富士サファリパークでは乗車したまま見学できることから個人客が増加した。また、はままつフラワーパーク・浜松市動物園では、整備工事に伴う割引により客数が増加した。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約56万台となり、前年同月比8.4%増となった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が9月28日から無料化されたことに伴い、10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
完成車生産台数(台)	17,742	22,023	16,219	24,634	25,844	26,437	24,281	26,140	25,984
前年同月比(%)	15.1	72.3	49.9	14.8	▲11.7	0.9	▲1.1	7.6	3.1
KD輸出額(百万円)	931	1,528	959	1,020	1,233	1,576	1,544	1,278	1,559
前年同月比(%)	63.2	159.4	53.7	43.9	58.2	112.2	104.9	67.1	91.1

<楽器>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
生産総額(百万円)	3,151	3,617	2,660	3,000	3,283	3,211	3,099	3,062	2,707
前年同月比(%)	▲0.9	13.5	▲3.9	8.4	▲5.6	▲4.1	5.0	8.9	▲10.7

<缶詰>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	946	1,071	901	937	1,036	1,110	993	873	842
前年同月比(%)	▲1.8	7.6	▲6.7	▲0.6	▲0.7	7.3	4.7	▲5.7	▲5.5
うち水産缶詰(%)	▲7.8	▲2.9	▲13.3	▲6.6	▲5.9	2.8	▲1.8	▲16.9	▲8.3
農畜産缶詰(%)	11.9	32.8	10.0	14.9	11.7	17.9	19.8	23.9	0.2
飲料缶生産高(千ケース)	8,279	8,377	6,578	6,904	6,575	7,153	5,910	4,888	6,002
前年同月比(%)	12.0	17.3	▲11.2	1.9	▲4.5	2.1	▲3.7	5.1	8.1

<繊維>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
広幅織物(千㎡)	1,163	1,096	1,070	1,307	1,370	1,530	1,381	1,224	1,140
前年同月比(%)	▲1.1	▲3.7	▲6.9	▲2.7	▲8.4	▲11.0	▲15.7	▲16.2	▲13.1
小幅織物(千㎡)	26	24	20	23	26	26	25	25	24
前年同月比(%)	▲7.3	▲12.3	▲14.7	▲16.5	▲10.8	▲14.3	▲16.6	▲14.2	▲13.7

<観光>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
観光施設(10施設)入込 (千人)	327	304	514	371	313	382	264	313	301
前年同月比(%)	8.4	6.0	▲3.2	4.7	▲15.9	▲2.9	▲6.7	2.3	8.2
有料道路(4路線 [※])通行量 (千台)	659	726	881	714	495	556	564	512	556
前年同月比(%)	0.4	▲3.4	▲1.1	5.8	▲9.4	▲1.8	0.7	▲1.2	8.4

[※]令和元年9月までは5路線、令和元年10月以降は4路線

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和2年4月号 通巻528号

発行 静岡県経済産業部
令和2年4月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>